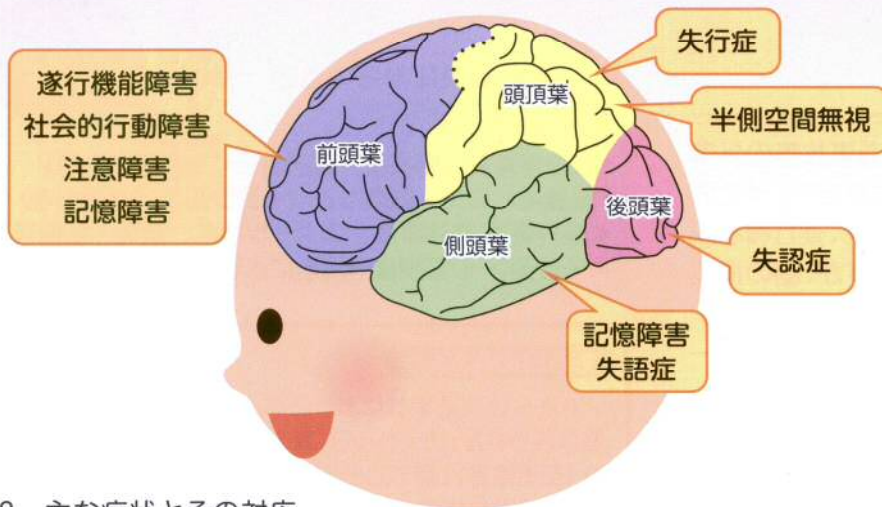


図2 脳損傷部位と主な症状

脳が損傷された部位によって、図のような症状が主に出現しますが、脳はいくつもの部位が神経ネットワークでつながっているため、実際の症状の現れ方は多種多様です。



発達障害や認知症との違い
 発達障害や認知症も、高次脳機能障害と同じように脳機能が関連することから症状が類似します。しかし、高次脳機能障害は、損傷を受けた時点から脳が回復しようと動き始める点や、今まで出来ていたことが受傷を境に急に出来なくなる「中途障害」であるという点で異なります。当事者や家族の心情に配慮が必要です。

表3 主な症状とその対応

障害	主な症状	対応方法の例
記憶障害	新しいことが覚えられない。	短く繰り返し伝える。メモの活用。
注意障害	集中力が続かない。複数のことに同時に気が配れない。	こまめに休憩。刺激の少ない環境を作る。
遂行機能障害	段取りがうまくできない。優先順位がつけられない。	具体的な指示。時間に余裕のある行動。
社会的行動障害 (行動と感情の障害)	感情や欲求のコントロールができない。やる気が起きない。	場所や話題を変え、気持ちを切替る。イライラのリセット方法を身につける。
半側空間無視	左(または右)側に注意が届かず、見落とす。(左側のおかずを残す等)	全体を見渡す習慣をつける。
失語症	聞いて理解する、話す、読む、書くことがうまくできない。	短い言葉でゆっくり伝える。
地誌的障害	慣れ親しんだ地理や場所が分からなくなる。	迷った時の対処方法を用意。
失行症	やり慣れた動作(歯磨きや箸の使い方等)ができない。	繰り返し練習。無理のない方法を考える。
失認症	見たものが何か分からない。	他の感覚(匂い、手触り等)を使う。

* 損傷を受けた部位や程度により症状は異なりますが、多くの方に複数の症状が重なり合って見られます。

* 社会資源や制度 ～まず相談を～

障害の程度に応じて使える資源や制度が異なり、申請先も多岐に渡ります。

まずはお住まいの地域にある一次相談窓口(各区役所支援課・各区障害者生活支援センター)にご相談下さい。



まずは
一次相談窓口へ

表4 社会資源やサービス(窓口はさいたま市の場合)

手帳	身体障害者手帳	麻痺や失語、視野障害等のある方	支援課
	療育手帳	概ね 18 歳までに受傷し、知的障害のある方	
	精神障害者手帳	記憶や注意機能、社会的行動上の障害がある方	
年金	障害の程度や年金納付の要件を満たす方		※
サービス	介護保険制度	介護が必要な 65 歳以上(脳血管障害は 40 歳以上)の方	高齢介護課
	障害者総合支援法	ヘルパーが必要な方や、就労支援を受ける方など、医師の意見書等で申請が可能	支援課

* 年金は加入先によって申請窓口が異なります。

さいたま市のホームページで情報発信中!

さいたま市 高次脳機能障害

検索

<参考文献> 監修：宮永和夫先生
 「イラストで学ぶ病気や障害」(http://kidsinfost.net)
 子ども情報ステーションbyぶるすあるは
 高次脳機能障害「どのように対応するか」PHP新書 著者：橋本圭司
 「高次脳機能障害の理解のために」東京都心身障害者福祉センター
 「高次脳機能障害をご存知ですか?」(http://www.city.saitama.jp)
 さいたま市障害者更生相談センターホームページ

発行：さいたま市障害者更生相談センター
 〒330-8501 さいたま市大宮区大門町3-1
 電話 048-646-3129